

# 昭和 48 年度政府関係機関暫定予算

(昭和 48 年度政府関係機関暫定予算参照書添付)

第 71 回国会 (特別会) 提出

## 総目録

## 昭和48年度政府関係機関暫定予算

予 算 総 則	1	ページ
甲号収入支出暫定予算	5	

## (添付)

昭和48年度政府関係機関暫定 予算参照書		
昭和48年度政府関係機関収入 支出暫定予算予定計算書等	11	

## 昭和48年度政府関係機関暫定予算目録

	ページ
予 算 総 則	1
甲号収入支出暫定予算	5
日 本 専 売 公 社	5
日 本 国 有 鉄 道	5
日 本 電 信 電 話 公 社	6
国 民 金 融 公 庫	7
住 宅 金 融 公 庫	7
農 林 漁 業 金 融 公 庫	7
中 小 企 業 金 融 公 庫	7
北 海 道 東 北 開 発 公 庫	8
公 営 企 業 金 融 公 庫	8
中 小 企 業 信 用 保 険 公 庫	8
医 療 金 融 公 庫	9
環 境 衛 生 金 融 公 庫	9
沖 縄 振 興 開 発 金 融 公 庫	9
日 本 開 発 銀 行	9
日 本 輸 出 入 銀 行	10

(添 付)

## 昭和48年度政府関係機関暫定予算参照書目録

昭和48年度政府関係機関収入支出暫定予  
算予定計算書等

日本専売公社	11	ページ
甲号収入支出暫定予算予 定計算書	11	
日本国有鉄道	19	
甲号収入支出暫定予算予 定計算書	19	
損益勘定	19	
資本勘定	21	
工事勘定	23	
日本電信電話公社	31	
甲号収入支出暫定予算予 定計算書	31	
損益勘定	31	
資本勘定	34	
建設勘定	36	
国民金融公庫	43	

甲号収入支出暫定予算予 定計算書	43
住宅金融公庫	47
甲号収入支出暫定予算予 定計算書	47
農林漁業金融公庫	51
甲号収入支出暫定予算予 定計算書	51
中小企業金融公庫	55
甲号収入支出暫定予算予 定計算書	55
北海道東北開発公庫	59
甲号収入支出暫定予算予 定計算書	59
公営企業金融公庫	63
甲号収入支出暫定予算予 定計算書	63
中小企業信用保険公庫	67
甲号収入支出暫定予算予 定計算書	67
医療金融公庫	71

甲号収入支出暫定予算予 定計算書	71	
環境衛生金融公庫	75	
甲号収入支出暫定予算予 定計算書	75	
沖縄振興開発金融公庫	79	
甲号収入支出暫定予算予 定計算書	79	
日本開発銀行	83	
甲号収入支出暫定予算予 定計算書	83	
日本輸出入銀行	87	
甲号収入支出暫定予算予 定計算書	87	

# 昭和48年度政府関係機関暫定予算

## 昭和 48 年度政府関係機関暫定予算

## 予 算 総 則

## 第 1 章 総 則

(収入支出暫定予算)

第 1 条 次に掲げる各政府関係機関の昭和 48 年度収入支出暫定予算は、「甲号収入支出暫定予算」に掲げるとおりとする。

日 本 専 売 公 社  
日 本 国 有 鉄 道  
日 本 電 信 電 話 公 社  
国 民 金 融 公 庫  
住 宅 金 融 公 庫  
農 林 漁 業 金 融 公 庫  
中 小 企 業 金 融 公 庫  
北 海 道 東 北 開 発 公 庫  
公 営 企 業 金 融 公 庫  
中 小 企 業 信 用 保 険 公 庫  
医 療 金 融 公 庫  
環 境 衛 生 金 融 公 庫  
沖 縄 振 興 開 発 金 融 公 庫  
日 本 開 発 銀 行  
日 本 輸 出 入 銀 行

(暫定予算の期間)

第 2 条 この暫定予算は、昭和 48 年 4 月 1 日から 4 月 11 日までの期間に係るものである。

## 第 2 章 日 本 専 売 公 社

(借入金の限度額)

第3条 「日本専売公社法」第43条の14第2項の規定による短期借入金の限度額は、25,000,000千円とする。

(流用の制限)

第4条 日本専売公社がその経費に他の経費の金額を流用する場合において、「日本専売公社法」第43条の2の規定により大蔵大臣の承認を受けなければならない経費は、交際費に要する経費とする。

第3章 日本国有鉄道

(流用の制限)

第5条 日本国有鉄道がその経費に他の経費の金額を流用する場合において、「日本国有鉄道法」第39条の14第2項の規定により運輸大臣の承認を受けなければならない経費は、交際費に要する経費とする。

2 前項に規定するもののほか、「日本国有鉄道法」第39条の14第2項の規定により日本国有鉄道が運輸大臣の承認を受けなければならない経費は、工事勘定のうち総係費以外の経費の金額を他の経費に流用する場合におけるこれらの経費とする。

第4章 日本電信電話公社

(電信電話債券の限度額)

第6条 「日本電信電話公社法」第62条第2項の規定による電信電話債券の限度額は、次に掲げるとおりとする。

電 信 電 話 債 券	限 度 額
「電信電話設備の拡充のための暫定措置に関する法律」第2条から第8条までの規定による引受け又は受益者の引受けにより発行するもの	14,000,000千円

2 前項に規定する電信電話債券の発行価格が額面金額を下回るときは、発行価格差減額をうめるため必要な金額を同項の限度額に加算した金額を限度額とする。

(流用の制限)

第7条 日本電信電話公社がその経費に他の経費の金額を流用する場合において、「日本電信電話公社法」第53条第2項の規定により郵政大臣の承認を受けなければならない経費は、交際費に要する経費とする。

2 前項に規定するもののほか、「日本電信電話公社法」第53条第2項の規定により日本電信電話公社が郵政大臣の承認を受けなければならない経費は、建設勘定のうち総係費以外の経費の金額を他の経費に流用する場合におけるこれらの経費とする。

第5章 国民金融公庫、住宅金融公庫、農林漁業金融公庫、中小企業金融公庫、北海道東北開発公庫、公営企業金融公庫、中小企業信用保険公庫、医療金融公庫、環境衛生金融公庫、沖縄振興開発金融公庫、日本開発銀行及び日本輸出入銀行

## (借入金の限度額)

第8条 次の表の左欄に掲げる各公庫の「公庫の予算及び決算に関する法律」第5条第2項第1号の規定による借入金の限度額は、それぞれ右欄に掲げるとおりとする。

公 庫	限 度 額
国 民 金 融 公 庫	借 入 金 9,000,000千円
中 小 企 業 金 融 公 庫	借 入 金 7,000,000

## (保険契約等の限度額)

第9条 次の表の左欄に掲げる各公庫の中欄に掲げる法律の規定による金額の限度は、それぞれ右欄に掲げるとおりとする。

公 庫	根 拠 規 定	限 度 額
住 宅 金 融 公 庫	「住宅融資保険法」第6条	保険価額の総額 2,700,000千円
中 小 企 業 信 用 保 険 公 庫	「中小企業信用保険公庫法」第18条第2項	保険価額の総額 104,000,000
		貸付金の総額 50,000

## (流用の制限)

第10条 日本開発銀行又は日本輸出入銀行がその経費の金額を相互に流用し、又はその経費と他の経費との間にその金額を相互に流用する場合において、「日本開発銀行法」第31条第1項又は「日本輸出入銀行法」第33条第1項の規定により、大蔵大臣の承認を受けなければならない経費は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 役職員に対して支給する給与に要する経費
- (2) 交際費に要する経費

## 甲号 収入支出暫定予算

政府関係機関	収 入		支 出	
	項	金額 (千円)	項	金額 (千円)
日本専売公社	たばこ事業収入	31,615,629	給與其他諸費	24,464
	塩事業収入	1,409,683	たばこ事業費	4,914,995
	共通収入	28,631	塩事業費	1,341,264
			共通費	224,656
			支払利子	158,822
	合 計	33,053,943	合 計	6,664,201
日本国有鉄道 損益勘定	運輸収入	37,771,444	給與其他諸費	79,226
	雑収入	1,602,527	営業費	5,096,155
			保守費	5,475,031
			管理共通費	856,748
			受託工事費	240,000
	合 計	39,373,971	資本勘定へ繰入	9,889,808
			合 計	21,636,968
資本勘定	損益勘定より受入	9,889,808	工事勘定へ繰入	9,889,808
工事勘定	資本勘定より受入	9,889,808	基幹施設増強費	2,572,000
			一般施設取替改良費	1,270,000
			車両費	585,000

政府関係機関	収入		支出	
	項	金額 (千円)	項	金額 (千円)
			山陽幹線増設費	3,700,000
			東北新幹線建設費	1,500,000
			総係費	262,808
	合計	9,889,808	合計	9,889,808
日本電信電話公社				
損益勘定	電信収入	1,306,000	給與其他諸費	1,917,640
	電話収入	44,904,000	営業費	2,381,934
	専用収入	1,916,000	保守費	3,502,681
	雑収入	1,115,000	管理共通費	2,003,403
			受託業務費	11,563
			利子及債務取扱諸費	126,987
			資本勘定へ繰入	21,642,880
	合計	49,241,000	合計	31,587,088
資本勘定	損益勘定より受入	21,642,880	債券及借入金等償還	141,880
	設備料	4,793,000	建設勘定へ繰入	38,000,000
	電信電話債券	11,706,000		
	合計	38,141,880	合計	38,141,880
建設勘定	資本勘定より受入	38,000,000	電信電話施設費	33,902,297
			局舎建設費	3,322,260
			諸施設費	105,847
			総係費	669,596
	合計	38,000,000	合計	38,000,000

政府関係機関	収 入			支 出	
	款	項	金額(千円)	項	金額(千円)
国民金融公庫	事業益金		2,468,208	事業損金	638,361
		事業益金	2,468,208		
	雑収入		275,386		
		運用収入	3,792		
		雑収入	271,594		
	合計		2,743,594	合計	638,361
住宅金融公庫	事業益金		3,190,000	事業損金	70,879
		事業益金	3,190,000	保険金	6,998
	住宅融資保険料収入		15,875		
		住宅融資保険料収入	15,875		
	雑収入		66,863		
		運用収入	62,500		
		雑収入	4,363		
	合計		3,272,738	合計	77,877
農林漁業金融公庫	事業益金		786,363	事業損金	31,088
		事業益金	786,363		
	雑収入		3,789		
		運用収入	3,237		
		雑収入	552		
	合計		790,152	合計	31,088
中小企業金融公庫	事業益金		3,682,131	事業損金	56,313

政府関係機関	収入			支出	
	款	項	金額(千円)	項	金額(千円)
北海道東北開発公庫		事業益金	3,682,131		
	雑収入		1,488		
		運用収入	1,221		
		雑収入	267		
	合計		3,683,619	合計	56,313
	事業益金		581,250	事業損金	24,603
公営企業金融公庫		事業益金	581,250		
	雑収入		1,727		
		運用収入	1,578		
		雑収入	149		
	合計		582,977	合計	24,603
	事業益金		100	事業損金	2,484
中小企業信用保険公庫		事業益金	100		
	雑収入		8,622		
		運用収入	8,622		
	合計		8,722	合計	2,484
	事業益金		30	事業損金	8,506
	保険料収入		157,508	保険金	692,134
	保険料収入	157,508			
	回収金	380,581			

政府関係機関	収 入			支 出	
	款	項	金額(千円)	項	金額(千円)
医療金融公庫		回 収 金	380,581		
	雑 収 入		150		
		雑 収 入	150		
	合 計		538,269	合 計	700,640
	事 業 益 金		521,347	事 業 損 金	8,807
		事 業 益 金	521,347		
環境衛生金融公庫	雑 収 入		84		
		運 用 収 入	84		
	合 計		521,431	合 計	8,807
	事 業 益 金		461,427	事 業 損 金	272,744
		事 業 益 金	461,427		
	雑 収 入		2,345		
沖縄振興開発金融公庫		運 用 収 入	30		
		雑 収 入	2,315		
	合 計		463,772	合 計	272,744
	事 業 益 金		60,074	事 業 損 金	5,946
		事 業 益 金	60,074		
	雑 収 入		540		
日本開発銀行		運 用 収 入	540		
	合 計		60,614	合 計	5,946
	事 業 益 金		3,551,558	事 業 損 金	478,683
		事 業 益 金			

政府関係機関	収 入			支 出	
	款	項	金額(千円)	項	金額(千円)
日本輸出入銀行		事業益金	3,551,558		
	雑収入		7,261		
		運用収入	5,057		
		雑収入	2,204		
	合計		3,558,819	合計	478,683
	事業益金		3,341,334	事業損金	20,500
	雑収入	事業益金	3,341,334		
		雑収入	13,003		
		運用収入	12,379		
		雑収入	624		
合計		3,354,337	合計	20,500	

(添 付)

## 昭和 48 年度政府関係機関暫定予算参照書

## 昭和48年度1010日本専売公社

## 甲号 収入支出暫定予算予定計算書

区 分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
1 収 入	33,053,943	
2 支 出	6,664,201	
〔収入支出暫定予算予定額内訳〕		
収 入		
項別区分並びに各項の見積の事由及び計算の基礎		
項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
01 たばこ事業収入	31,615,629	1 製造たばこ売払代 最近までの販売実績を基礎とし、販売本数、単価等を見込んで算出 2 雑収入 最近の実績額を基礎として算出
02 塩事業収入	1,409,683	1 塩売払代 最近までの一般用塩及びソーダ用塩の消費実績を基礎とし、売払数量を見込んで算出 2 雑収入 最近の実績額を基礎とし、「塩業の整備及び近代化の促進に関する臨時措置法」第6条第1項の規定による納付金を見込んで算出

項		昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
03 共 通 収 入		28,631	1 診療収入 最近の診療収入実績を基礎として算出 2 雑収入 最近の実績額を基礎として算出
<b>支 出</b>			
事 項 別 内 訳			
項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説 明
01	給与其他諸費	24,464	退職手当等
02	たばこ事業費	297,342	製造たばこの販売に要する回送保管費、業務費等
	製造たばこの販売に必要な経費		
	たばこの試験研究に必要な経費	24,297	たばこに関する試験研究費
	葉たばこの調達に必要な経費	1,966,637	1 葉たばこの購入費並びに葉たばこの購入に要する回送保管費及び貯蔵品費 2 葉たばこの耕作指導及び購入に要する業務費等
	葉たばこの加工に必要な経費	367,085	葉たばこの再乾燥作業及びシートたばこ製造に要する材料品費、回送保管費、貯蔵品費、業務費等
03	製造たばこの製造に必要な経費	2,259,634	製造たばこの製造等に要する材料品費、巻紙費、回送保管費、貯蔵品費、業務費等
	塩事業費		
	塩の購入に必要な経費	3,084	塩の生産指導及び購入に要する業務費等
	塩の販売に必要な経費	179,497	塩の販売に要する回送保管費、業務費等
	塩の試験研究に必要な経費	1,469	塩に関する試験研究費

項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説 明
04 共 通 費	塩の購入加工に必要な経費	1,157,214	1 国内塩及び輸入塩の購入費 2 精製塩等の部外加工費等
	専売事業の統括管理に必要な経費	190,323	たばこ事業及び塩事業の統括管理に要する事務費等
	診療に必要な経費	30,583	病院の管理費及び診療費
	専売取締に必要な経費	3,750	たばこ事業及び塩事業の専売取締に要する事務費等
07 支 払 利 子	利子の支払に必要な経費	158,822	借入金に対する利子

収入支出暫定予算予定額科目別表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)
収 入		01 給 与 其 他 諸 費	24,464
01 たばこ事業収入	31,615,629	02 たばこ事業費	4,914,995
02 塩事業収入	1,409,683	03 塩事業費	1,341,264
03 共通収入	28,631	04 共通費	224,656
収入合計	33,053,943	07 支払利子	158,822
支 出		支出合計	6,664,201

# 日 本 専 売 公 社

## 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 事 業 計 画

1 たばこ事業

(1) 葉たばこの購入高

種 類	数 量	単 価(円)	金 額(千円)	備 考
外 国 葉	千kg 2,128	1kg当 余 821	1,748,471	

(2) 製造たばこの製造高及び購入高

種 類	製造及び購入本数	備 考
国 内 生 産		国内生産小計及び合計の計算に当つては、「刻」及び「パイプ」については、1gを1本として計算した。次の「(3)製造たばこの売払高」の表においても同様である。
フ ィ ル タ ー 付 き	百万本 7,610	
両 切	百万本 345	
口 付	百万本 10	
刻	千kg 10	
パ イ プ	千kg 5	
葉 巻	千本 790	
国 内 生 産 小 計	7,980百万本 790千本	
輸 入 品	百万本 80	
合 計	8060百万本 790千本	

(3) 製造たばこ売払高

種 類	売 払 数 量	金 額(千円)
国 内 販 売		
フ ィ ル タ ー 付	百万本 7,580	32,877,500
両 切	百万本 365	1,125,000
口 付	百万本 10	15,000
刻	千kg 10	20,000
小 計	百万本 7,965	34,037,500
パ イ プ	千kg 4	22,000
葉 巻	千本 785	27,930
輸 入 品	百万本 60	540,000
合 計	8,029百万本 785千本	34,627,430
販 売 手 数 料		3,083,937
差 引 国 内 売 払 代		31,543,493
輸 出		
フ ィ ル タ ー 付 き	百万本 18	36,000
両 切	百万本 1	2,500
輸 入 品	百万本 5	12,500
計	百万本 24	51,000
売 払 高 合 計	8,053百万本 785千本	31,594,493

2 塩 事 業

(1) 塩の購入高

種 類	数 量	単 価(円)	金 額(千円)
国 内 塩	31,536 <sup>t</sup>	10,705 <sup>余</sup>	337,620
輸 入 塩	235,230	3,073 <sup>余</sup>	723,023
一 般 用 塩	20,820	3,502 <sup>余</sup>	72,932
ソ ー ダ 用 塩	214,410	3,031 <sup>余</sup>	650,091
計	266,766		1,060,643

(2) 塩の売払高

種 類	数 量	単 価(円)	金 額(千円)
一 般 用 塩	50,842 <sup>t</sup>	14,531 <sup>余</sup>	738,806
ソ ー ダ 用 塩	214,410	3,061 <sup>余</sup>	656,523
計	265,252		1,395,329

3 収入支出暫定予算予定額内訳					
科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額(千円)		科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額(千円)	
収 入			13 業 務 費	46,285	
01 たばこ事業収入	31,615,629		13 回 送 保 管 費	137,642	
製造たばこ売払代	31,594,493		23 貯 蔵 品 費	12,381	
雑 収 入	21,136		(葉たばこ加工費)	367,085	
02 塩 事 業 収 入	1,409,683		12 旅 費	1,090	
塩 売 払 代	1,395,329		13 業 務 費	98,236	
雑 収 入	14,354		13 回 送 保 管 費	161,786	
03 共 通 収 入	28,631		23 材 料 品 費	81,451	
診 療 収 入	16,736		23 貯 蔵 品 費	24,522	
雑 収 入	11,895		(たばこ製造費)	2,259,634	
収 入 合 計	33,053,943		12 旅 費	4,874	
支 出			13 業 務 費	243,028	
01 給 与 其 他 諸 費			13 回 送 保 管 費	95,068	
11 諸 手 当	24,464		23 巻 紙 費	100,865	
02 たばこ事業費	4,914,995		23 材 料 品 費	1,515,453	
(販 売 費)	297,342		23 貯 蔵 品 費	136,335	
12 旅 費	9,951		23 製 造 た ば こ 購 入 費	164,011	
13 業 務 費	133,785		03 塩 事 業 費	1,341,264	
13 回 送 保 管 費	153,606		(購 入 費)	3,084	
(試 験 研 究 費)	24,297		12 旅 費	1,262	
12 旅 費	894		13 業 務 費	1,822	
13 試 験 研 究 費	23,403		(販 売 費)	179,497	
(葉たばこ調達費)	1,966,637		12 旅 費	2,038	
23 葉たばこ購入費	1,748,471		13 業 務 費	11,551	
12 旅 費	21,858		13 回 送 保 管 費	165,908	

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額(千円)		科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額(千円)	
(試験研究費)	1,469		19 交 際 費	120	
12 旅 費	77		99 賠 償 及 償 還 金	390	
13 試 験 研 究 費	1,392		(診 療 諸 費)	30,583	
(塩購入加工費)	1,157,214		12 旅 費	729	
23 塩 購 入 費	1,060,643		13 診 療 費	29,854	
13 荷 役 費	14,577		(行 政 費)	3,750	
13 包 装 費	8,321		12 旅 費	2,104	
13 部 外 加 工 費	73,673		13 事 務 費	1,646	
04 共 通 費	224,656		07 支 払 利 子		
(管 理 費)	190,323		99 支 払 利 子	158,822	
12 旅 費	28,866		支 出 合 計	6,664,201	
13 事 務 費	160,947				

日 本 専 売 公 社  
昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 資 金 計 画

支		出	収		入
区	分	昭和48年度暫定予算予定額(円)	区	分	昭和48年度暫定予算予定額(円)
前	年 度 未 払 金 支 出	9,749,567	前	年 度 売 掛 金 及 び 未 収 金 収 入	641,170,832
本	年 度 支 出	6,654,451,433	本	年 度 収 入	32,309,473,705
借	入 金 償 還			計	32,950,644,537
長	期 借 入 金	85,000,000,000	前	年 度 よ り の 繰 越 金	69,942,995,496
	計	91,664,201,000			
翌	日 へ の 繰 越 金	11,229,439,033			
合	計	102,893,640,033	合	計	102,893,640,033

## 昭和48年度 1020 日本国有鉄道

## 甲号 収入支出暫定予算予定計算書

## 1021 損 益 勘 定

区 分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
1 収 入	39,373,971	
2 支 出	21,636,968	
〔収入支出暫定予算予定額内訳〕		
収 入		
項別区分並びに各項の見積の事由及び計算の基礎		
項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
01 運 輸 収 入	37,771,444	旅客収入及び貨物収入について輸送量及び収入の最近までの実績及び今後の傾向を勘案して算出
02 雑 収 入	1,602,527	1 運輸雑収入、病院収入及び雑収入 最近までの実績及び今後の傾向を勘案して算出 2 受託工事収入 外部からの委託を受けて実施する工事に係る収入見込額を計上

支 出

事 項 別 内 訳

項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説 明
01 給与其他諸費	給 与 そ の 他 諸 費	79,226	退職手当等
02 営 業 費	営 業 費	5,096,155	輸送業務に係る動力費、物品費、役務費等
03 保 守 費	保 守 費	5,475,031	施設及び車両等の保守費
04 管 理 共 通 費	管 理 共 通 費	856,748	管理部門及び鉄道技術研究所等における事務費、試験研究費等
05 受 託 工 事 費	受 託 工 事 費	240,000	外部からの委託を受けて実施する工事費
07 資本勘定へ繰入	資 本 勘 定 へ 繰 入	9,889,808	工事勘定へ繰入の資金としての資本勘定への繰入れ

収 入 支 出 暫 定 予 算 予 定 額 科 目 別 表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)
収 入		02 営 業 費	5,096,155
01 運 輸 収 入	37,771,444	03 保 守 費	5,475,031
02 雑 収 入	1,602,527	04 管 理 共 通 費	856,748
収 入 合 計	39,373,971	05 受 託 工 事 費	240,000
支 出		07 資 本 勘 定 へ 繰 入	9,889,808
01 給 与 其 他 諸 費	79,226	支 出 合 計	21,636,968

1022 資 本 勘 定			
区 分		昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
1 収	入	9,889,808	
2 支	出	9,889,808	
〔収入支出暫定予算予定額内訳〕			
収 入			
項の区分並びにその見積の事由及び計算の基礎			
項		昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
01	損益勘定より受入	9,889,808	工事勘定へ繰入の資金としての損益勘定からの受入見込額を計上
支 出			
事 項 別 内 訳			
項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説 明
02	工事勘定へ繰入	9,889,808	工事の資金としての工事勘定への繰入れ

## 収入支出暫定予算予定額科目別表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)		科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
収 入			支 出		
01 損益勘定より受入	9,889,808		02 工事勘定へ繰入	9,889,808	

## 1023 工 事 勘 定

区 分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)		
1 収 入	9,889,808		
2 支 出	9,889,808		
〔収入支出暫定予算予定額内訳〕			
収 入			
項の区分並びにその見積の事由及び計算の基礎			
項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎	
01 資本勘定より受入	9,889,808	工事の資金としての資本勘定からの受入見込額を計上	
支 出			
事 項 別 内 訳			
項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説 明
01 基幹施設増強費	基 幹 施 設 増 強 費	2,572,000	基幹施設の増強工事費
05 一般施設取替改良費	一 般 施 設 取 替 改 良 費	1,270,000	一般諸施設の取替改良工事費
02 車 両 費	車 両 費	585,000	車両の新造費及び改造費

項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説 明
03 山陽幹線増設費	山 陽 幹 線 増 設 費	3,700,000	山陽幹線の増設工事費
06 東北新幹線建設費	東 北 新 幹 線 建 設 費	1,500,000	東北新幹線の建設工事費
04 総 係 費	総 係 費	262,808	工事等の調査、計画、監督等に係る事務費等

収入支出暫定予算予定額科目別表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)
収 入		02 車 両 費	585,000
01 資本勘定より受入	9,889,808	03 山 陽 幹 線 増 設 費	3,700,000
支 出		06 東 北 新 幹 線 建 設 費	1,500,000
01 基幹施設増強費	2,572,000	04 総 係 費	262,808
05 一般施設取替改良費	1,270,000	支 出 合 計	9,889,808

日 本 国 有 鉄 道  
昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 事 業 計 画

## 1 輸 送 計 画

## (1) 鉄 道 輸 送 量

区 分	昭和48年度暫定予算予定
旅 客 輸 送 人 員	218,367千人
貨 物 輸 送 ト ン 数	5,693千トン

## (2) 列 車 計 画

区 分	昭和48年度暫定予算予定
旅 客 列 車	16,127千km
貨 物 列 車	5,804千km

## 2 収入支出暫定予算予定額内訳

## (1) 損 益 勘 定

収 入		支 出	
区 分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)	区 分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)
01 運 輸 収 入	37,771,444	01 給 与 其 他 諸 費	
旅 客 収 入	29,983,447	11 諸 手 当	79,226
貨 物 収 入	7,787,997	02 営 業 費	5,096,155
02 雑 収 入	1,602,527	12 旅 費	301,467
運 輸 雑 収 入	974,333	13 賃 金	62,284
病 院 収 入	205,005	13 役 務 費	448,487
雑 収 入	183,189	13 物 品 費	410,752
受 託 工 事 収 入	240,000	13 動 力 費	1,700,022
		15 業 務 委 託 費	2,173,143
		03 保 守 費	5,475,031
		12 旅 費	90,497

収 入		支 出	
区 分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)	区 分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)
		13 賃 金	35,870
		13 役 務 費	122,867
		13 物 品 費	53,291
		13 保 守 工 事 費	5,172,506
		04 管 理 共 通 費	856,748
		12 旅 費	124,310
		13 賃 金	18,723
		13 役 務 費	360,187
		13 物 品 費	279,732
		13 在 外 事 務 費	3,206
		19 交 際 費	120
		33 諸 税 公 課	5,470
		99 賠 償 金 及 払 戻 金	65,000
		05 受 託 工 事 費	
		24 受 託 工 事 費	240,000
		07 資 本 勘 定 へ 繰 入	
		36 資 本 勘 定 へ 繰 入	9,889,808
合 計	39,373,971	合 計	21,636,968

(2) 資 本 勘 定

収 入		支 出	
区 分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)	区 分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)
01 損 益 勘 定 よ り 受 入		02 工 事 勘 定 へ 繰 入	
損 益 勘 定 よ り 受 入	9,889,808	36 工 事 勘 定 へ 繰 入	9,889,808

(3) 工事勘定					
収		入	支		出
区	分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)	区	分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)
01	資本勘定より受入		01	基幹施設増強費	2,572,000
	資本勘定より受入	9,889,808	24	電化設備費	367,000
			24	線路増設費	1,218,000
			24	停車場設備費	934,000
			24	電力設備費	53,000
			05	一般施設取替改良費	1,270,000
			24	電気設備費	24,000
			24	線路改良費	197,000
			24	防災設備費	543,000
			24	駅施設費	27,000
			24	管理施設費	11,000
			24	通信設備費	86,000
			24	信号保安設備費	131,000
			24	機械設備費	17,000
			24	車両工場費	6,000
			24	踏切改良費	228,000
			02	車両費	
			24	車両費	585,000
			03	山陽幹線増設費	
			24	増設工事費	3,700,000
			06	東北新幹線建設費	
			24	建設工事費	1,500,000
			04	総係費	262,808

収		入	支		出
区	分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)	区	分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)
			(基 幹 施 設 増 強 等)		216,075
			21	諸 手 当	2,721
			22	旅 費	73,938
			23	賃 金	25,628
			23	役 務 費	59,623
			23	物 品 費	39,639
			23	保 守 工 事 費	14,526
			(東 北 新 幹 線 建 設)		46,733
			21	諸 手 当	438
			22	旅 費	15,284
			23	賃 金	3,838
			23	役 務 費	16,804
			23	物 品 費	9,075
			23	保 守 工 事 費	1,294
合	計	9,889,808	合	計	9,889,808

日 本 国 有 鉄 道  
昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 資 金 計 画

支 出			収 入		
区 分		昭和48年度暫定予算予定額(円)	区 分		昭和48年度暫定予算予定額(円)
損 益 勘 定		58,512,290,101	事 業 収 入		53,347,155,776
工 事 勘 定		48,391,021,828	計		53,347,155,776
計		106,903,311,929	前 年 度 よ り の 繰 越 金		219,697,357,815
翌 日 へ の 繰 越 金		166,141,201,662			
合 計		273,044,513,591	合 計		273,044,513,591

## 昭和48年度1030日本電信電話公社

## 甲号 収入支出暫定予算予定計算書

## 1031 損 益 勘 定

区 分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
1 収 入	49,241,000	
2 支 出	31,587,088	

〔収入支出暫定予算予定額内訳〕

## 収 入

項別区分並びに各項の見積の事由及び計算の基礎

項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
01 電 信 収 入	1,306,000	最近までの収入動向及び電信施設数を勘案して算出
02 電 話 収 入	44,904,000	最近までの収入動向及び電話施設数を勘案して収入見込額を算出
03 専 用 収 入	1,916,000	最近までの収入実績、専用施設数及びデータ通信施設数を勘案して算出
04 雑 収 入	1,115,000	1 広告収入、病院等収入及び雑収 最近の実績額を基礎として算出 2 受託業務収入 外部からの委託を受けて実施する業務に係る収入見込額を計上

## 支 出

事 項 別 内 訳

項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説 明
01	給与其他諸費	1,917,640	退職手当等
02	営 業 費	2,381,934	電報の伝送及び配達、電話の営業事務及び交換等に要する経費並びにこれらの業務の一部を公衆電話の受託者等に委託する経費
03	保 守 費	3,502,681	電信電話施設の保守費
04	管 理 共 通 費	2,003,403	管理部門及び研究所等における事務費、試験研究費等並びに「自動車重量税法」に基づき納付する自動車重量税等
05	受 託 業 務 費	11,563	外部からの委託を受けて実施する業務費
06	利子及債務取扱諸費	126,987	電信電話債券等の利子、電信電話債券の発行手数料等
07	資本勘定へ繰入	21,642,880	債券及借入金等償還及び建設勘定へ繰入の資金としての資本勘定への繰入れ

### 収 入 支 出 暫 定 予 算 予 定 額 科 目 別 表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)
収 入		04 雑 収 入	1,115,000
01 電 信 収 入	1,306,000	収 入 合 計	49,241,000
02 電 話 収 入	44,904,000	支 出	
03 専 用 収 入	1,916,000	01 給 与 其 他 諸 費	1,917,640

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)		科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
02 営 業 費	2,381,934		06 利子及債務取扱諸費	126,987	
03 保 守 費	3,502,681		07 資本勘定へ繰入	21,642,880	
04 管 理 共 通 費	2,003,403		支 出 合 計	31,587,088	
05 受 託 業 務 費	11,563				

電  
電

## 1032 資 本 勘 定

区 分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
1 収 入	38,141,880	
2 支 出	38,141,880	
〔収入支出暫定予算予定額内訳〕		
収 入		
項別区分並びに各項の見積の事由及び計算の基礎		
項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
01 損 益 勘 定 よ り 受 入	21,642,880	債券及借入金等償還及び建設勘定へ繰入の資金として損益勘定からの受入見込額を計上
03 設 備 料	4,793,000	電話架設等の際に受け入れる設備料等の収入を、施設の増加等に基づき算出
04 電 信 電 話 債 券	11,706,000	建設改良等の資金に充てるため、電信電話債券を発行することによる収入見込額を計上

## 支 出

事 項 別 内 訳

項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説 明
01 債券及借入金等償還	債券及び借入金等償還	141,880	電信電話債券及び借入金の償還金並びに「電話設備費負担臨時措置法」に基づいて受け入れた電話設備負担金の加入の廃止に伴う還付金
02 建設勘定へ繰入	建 設 勘 定 へ 繰 入	38,000,000	建設改良等のために資金としての建設勘定への繰入れ

## 収入支出暫定予算予定額科目別表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)		科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
収 入			支 出		
01 損益勘定より受入	21,642,880		01 債券及借入金等償還	141,880	
03 設 備 料	4,793,000		02 建設勘定へ繰入	38,000,000	
04 電 信 電 話 債 券	11,706,000		支 出 合 計	38,141,880	
収 入 合 計	38,141,880				

電  
電

## 1033 建設勘定

区 分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)		
1 収 入	38,000,000		
2 支 出	38,000,000		
〔収入支出暫定予算予定額内訳〕			
収 入			
項の区分並びにその見積の事由及び計算の基礎			
項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎	
01 資本勘定より受入	38,000,000	建設改良等の資金として資本勘定からの受入見込額を計上	
支 出			
事 項 別 内 訳			
項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説 明
01 電信電話施設費	電 信 電 話 施 設 費	33,902,297	電信電話施設の整備費
02 局舎建設費	局 舎 建 設 費	3,322,260	局舎の整備費
03 諸施設費	諸 施 設 費	105,847	研究設備の取得費
04 総係費	総 係 費	669,596	電信電話施設、局舎等の各種施設を整備するための事務費等

## 収入支出暫定予算予定額科目別表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)		科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
収 入			02 局 舎 建 設 費	3,322,260	
01 資本勘定より受入	38,000,000		03 諸 施 設 費	105,847	
支 出			04 総 係 費	669,596	
01 電信電話施設費	33,902,297		支 出 合 計	38,000,000	

## 日 本 電 信 電 話 公 社

## 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 事 業 計 画

## 1 電信電話施設の建設計画

区 分	昭和48年度暫定予算予定
(1) 一般加入電話	9,300加入
(2) ビル電話	2,550加入
(3) 地域集団電話	1,800加入
(4) 公衆電話	2,680個
(5) 市外電話回線	3,960回線
(6) 特定通信回線	140回線
(7) 公衆通信回線	140端末回線

## 2 収入支出暫定予算予定額内訳

## (1) 損 益 勘 定

収 入		支 出	
区 分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)	区 分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)
01 電信収入	1,306,000	01 給與其他諸費	
電報料	564,000	11 諸手当	1,917,640
加入電信料	726,000	02 営業費	2,381,934
電信雑収	16,000	12 旅費	63,723
02 電話収入	44,904,000	13 庁費	1,794,084
電話使用料	8,750,000	13 貯蔵品割掛費	4,059
通話料	31,918,000	15 業務委託費	520,068

収 入		支 出	
区 分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)	区 分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)
臨時電話料	714,000	03 保守費	3,502,681
公衆電話料	2,985,000	12 旅費	191,776
電話雑収	537,000	13 庁費	3,276,144
03 専用収入	1,916,000	13 貯蔵品割掛費	5,815
一般専用料	1,196,000	13 諸経費	28,946
デ-夕通信料	720,000	04 管理共通費	2,003,403
04 雑収入	1,115,000	19 諸謝金	614
広告収入	722,000	12 旅費	217,131
病院等収入	128,000	13 庁費	1,770,696
雑収	244,000	13 貯蔵品割掛費	368
受託業務収入	21,000	19 交際費	120
		13 諸経費	14,474
		05 受託業務費	11,563
		12 旅費	1,170
		13 庁費	10,092
		13 貯蔵品割掛費	294
		13 諸経費	7
		06 利子及債務取扱諸費	
		99 利子及び債務取扱諸費	126,987
		07 資本勘定へ繰入	
		36 資本勘定へ繰入	21,642,880
合 計	49,241,000	合 計	31,587,088

(2) 資 本 勘 定					
収		入	支		出
区	分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)	区	分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)
01	損益勘定より受入		01	債券及借入金等償還	
	損益勘定より受入	21,642,880	99	債券及び借入金等償還金	141,880
03	設備料		02	建設勘定へ繰入	
	設備料	4,793,000	36	建設勘定へ繰入	38,000,000
04	電信電話債券				
	電信電話債券	11,706,000			
	合 計	38,141,880		合 計	38,141,880
(3) 建 設 勘 定					
収		入	支		出
区	分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)	区	分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)
01	資本勘定より受入		01	電信電話施設費	33,902,297
	資本勘定より受入	38,000,000	22	旅 費	430,037
			23	庁 費	21,665,687
			23	貯蔵品割掛費	138,157
			24	請 負 費	10,991,128
			23	諸 経 費	677,288
			02	局舎建設費	3,322,260
			22	旅 費	23,920
			23	庁 費	80,066
			24	請 負 費	3,187,377
			23	諸 経 費	30,897
			03	諸施設費	105,847

収		入	支		出
区	分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)	区	分	昭和48年度暫定予算予定額(千円)
			23	庁 費	1,090
			23	貯 蔵 品 割 掛 費	7
			24	施 設 購 入 費	103,734
			24	請 負 費	1,016
			04	総 係 費	669,596
			21	諸 手 当	212,717
			22	旅 費	119,614
			23	庁 費	336,065
			23	貯 蔵 品 割 掛 費	1,174
			23	諸 経 費	26
合	計	38,000,000	合	計	38,000,000

## 日 本 電 信 電 話 公 社

## 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 資 金 計 画

支 出			収 入		
区 分		昭和48年度暫定予算予定額(円)	区 分		昭和48年度暫定予算予定額(円)
損 益 勘 定		9,406,872,000	事 業 収 入 金		49,241,000,000
資 本 勘 定		141,880,000	設 備 料		4,793,000,000
建 設 勘 定		16,596,385,000	電 信 電 話 債 券		11,706,000,000
中 間 勘 定			計		65,740,000,000
貯 蔵 品 割 掛 勘 定		149,874,000	前 年 度 よ り の 繰 越 金		53,833,217,633
貯 蔵 品 購 買 費		21,791,077,000			
計		48,086,088,000			
翌 日 へ の 繰 越 金		71,487,129,633			
合 計		119,573,217,633	合 計		119,573,217,633

## 昭和48年度2010国民金融公庫

## 甲号 収入支出暫定予算予定計算書

区 分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
1 収 入	2,743,594	
2 支 出	638,361	
〔収入支出暫定予算予定額内訳〕		
収 入		
款・項・目別区分並びに各目の見積の事由及び計算の基礎		
款 ・ 項 ・ 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
0100-00 事業益金		
0101-00 事業益金		
0101-01 貸付金利息	2,468,208	貸付金残高を基礎として利息の収入見込額を算出
0200-00 雑収入	275,386	
0202-00 運用収入		
0202-01 運用収入	3,792	有価証券の運用による利息収入等の収入見込額を計上
0203-00 雑収入	271,594	
0203-02 労働保険料被保険者負担金	3,376	労働保険料の被保険者負担金の収入見込額を計上
0203-01 雑収入	268,218	受託手数料収入等の収入見込額を計上

支 出

事 項 別 内 訳

項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説 明
01 事業損金	事務運営に必要な経費 支 払 利 息	636,046 2,315	事務運営に必要な人件費及び事務費 環境衛生金融公庫からの受託金に対する支払利息

収入支出暫定予算予定額科目別表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)
収 入		01 事業損金	638,361
0100-00 事業益金		11-01 役員給	3,960
0101-00 事業益金		11-02 職員基本給	455,023
0101-01 貸付金利息	2,468,208	11-03 職員諸手当	19,252
0200-00 雑収入	275,386	11-04 超過勤務手当	45,113
0202-00 運用収入		11-05 退職手当	34,553
0202-01 運用収入	3,792	12-07 旅 費	13,086
0203-00 雑収入	271,594	13-08 業務諸費	64,705
0203-02 労働保険料被保険者負担金	3,376	19-09 交 際 費	55
0203-01 雑収入	268,218	19-10 債権保全費	299
収 入 合 計	2,743,594	39-13 支 払 利 息	2,315
支 出			

# 国民金融公庫

## 昭和48年度暫定予算事業計画

1. 昭和48年4月1日から4月11日までの期間における貸付金は、普通貸付、恩給担保貸付及び記名国債担保貸付として総額 32,800,000 千円を予定している。
2. 上記の原資としては、資金運用部資金からの借入金 9,000,000 千円、貸付回収金等 23,800,000 千円、計 32,800,000 千円を予定している。
3. 上記のほか、昭和48年4月1日から4月11日までの期間において環境衛生金融公庫から委託を受けて貸付を行なうことを予定している。

## 昭和48年度暫定予算資金計画

支 出			収 入		
区 分	金 額(千円)		区 分	金 額(千円)	
貸 付 金	32,800,000		前 期 未 現 金 預 け 金	3,201,814	
普 通 貸 付	30,700,000		借 入 金		
恩 給 担 保 貸 付	2,000,000		資 金 運 用 部 借 入 金	9,000,000	
記 名 国 債 担 保 貸 付	100,000		貸 付 回 収 金	20,441,000	
事 業 損 金	638,361		普 通 貸 付 回 収 金	13,941,000	
事 務 費	636,046		恩 給 担 保 貸 付 回 収 金	6,500,000	
受 託 金 支 払 利 息	2,315		雑 勘 定	7,000	
翌 日 へ 現 金 預 け 金 繰 越	1,955,047		事 業 益 金	2,468,208	
			雑 収 入	275,386	
合 計	35,393,408		合 計	35,393,408	

(備考) 上記の資金計画には、環境衛生金融公庫から委託を受けて行なう貸付金に係る収支は含まれていない。

国民金融

## 昭和48年度2020住宅金融公庫

## 甲号 収入支出暫定予算予定計算書

区 分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
1 収 入	3,272,738	
2 支 出	77,877	
〔収入支出暫定予算予定額内訳〕		
収 入		
款・項・目別区分並びに各目の見積の事由及び計算の基礎		
款 ・ 項 ・ 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
0100-00 事業益金		
0101-00 事業益金		
0101-01 貸付金利息	3,190,000	貸付金残高を基礎として利息の収入見込額を算出
0200-00 住宅融資保険料収入		
0201-00 住宅融資保険料収入		
0201-01 住宅融資保険料収入	15,875	最近までの住宅融資保険契約実績を勘案し収入見込額を算出
0300-00 雑 収 入	66,863	
0302-00 運 用 収 入		

款・項・目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
0302-01 運 用 収 入	62,500	受託金融機関に対する預託金の利息収入で、収入見込額を算出
0303-00 雑 収 入		
0303-01 雑 収 入	4,363	受託手数料収入等の収入見込額を計上

支 出

事 項 別 内 訳

項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説 明
01 事業損金	事務運営に必要な経費	68,897	事務運営に必要な事務費等
	債券発行諸費	1,982	住宅金融公庫宅地債券の発行諸費
02 保険金	保 険 金	6,998	住宅融資保険事故の発生により金融機関に支払う保険金

収 入 支 出 暫 定 予 算 予 定 額 科 目 別 表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)
収 入		0201-00 住宅融資保険料 収入	
0100-00 事業益金		0201-01 住宅融資保険料 収入	15,875
0101-00 事業益金		0300-00 雑 収 入	66,863
0101-01 貸付金利息	3,190,000	0302-00 運 用 収 入	
0200-00 住宅融資保険料 収入		0302-01 運 用 収 入	62,500

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)		科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
0303-00 雑 収 入			13-08 業 務 諸 費	13,190	
0303-01 雑 収 入	4,363		19-09 交 際 費	55	
収 入 合 計	3,272,738		19-10 債 権 保 全 費	180	
支 出			19-15 債 券 発 行 諸 費	1,982	
01 事 業 損 金	70,879		02 保 險 金		
11-05 退 職 手 当	42,414		99-01 保 險 金	6,998	
12-07 旅 費	13,058		支 出 合 計	77,877	

## 住 宅 金 融 公 庫

### 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 事 業 計 画

1. 昭和 48 年 4 月 1 日から 4 月 11 日までの期間における住宅資金融通事業の事業計画は、次のとおりである。
  - ( 1 ) 貸付契約は、一般住宅資金貸付 16,773,000 千円、産業労働者住宅資金貸付 216,000 千円、市街地再開発住宅等資金貸付 2,263,000 千円、関連公共施設等資金貸付 150,000 千円及び宅地造成資金貸付 2,917,000 千円、総額 22,319,000 千円を予定している。
  - ( 2 ) 資金の貸付けは、昭和 47 年度及び昭和 46 年度の貸付契約金額のうち、事業計画上資金交付未済となつている 6,650,000 千円を予定している。
  - ( 3 ) 上記の原資としては、貸付回収金等 6,650,000 千円を予定している。
2. 昭和 48 年 4 月 1 日から 4 月 11 日までの期間における住宅融資保険事業の事業計画は、保険価額の総額 2,700,000 千円の 100 分の 90 に相当する保険金額 2,430,000 千円を予定している。

### 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 資 金 計 画

支 出			収 入		
区 分	金 額(千円)		区 分	金 額(千円)	
貸 付 金	6,650,000		前 期 未 現 金 預 け 金	17,135,211	
事 業 損 金	70,879		貸 付 回 収 金	4,136,000	
事 務 費	68,897		事 業 益 金	3,190,000	
債 券 発 行 諸 費	1,982		住 宅 融 資 保 険 料	15,875	
保 險 金	6,998		雑 収 入	66,863	
翌 日 へ 現 金 預 け 金 繰 越	17,816,072				
合 計	24,543,949		合 計	24,543,949	

## 昭和 48 年 度 2030 農 林 漁 業 金 融 公 庫

### 甲号 収入支出暫定予算予定計算書

区	分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
1	収 入	790,152	
2	支 出	31,088	

〔収入支出暫定予算予定額内訳〕

### 収 入

款・項・目別区分並びに各目の見積の事由及び計算の基礎

款 ・ 項 ・ 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
0100-00 事 業 益 金		
0101-00 事 業 益 金		
0101-01 貸 付 金 利 息	786,363	貸付金残高を基礎として利息の収入見込額を算出
0300-00 雑 収 入	3,789	
0302-00 運 用 収 入		
0302-01 運 用 収 入	3,237	有価証券の運用による利息収入で、既往年度の収入実績を基礎として算出
0303-00 雑 収 入		
0303-01 雑 収 入	552	委託金融機関から受け入れる交付金利息等の収入見込額を計上

## 支 出

事 項 別 内 訳

項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説	明
01 事業損金	事務運営に必要な経費	31,088	事務運営に必要な事務費等	

## 収入支出暫定予算予定額科目別表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)
収 入		0303-01 雑 収 入	552
0100-00 事業益金		収 入 合 計	790,152
0101-00 事業益金		支 出	
0101-01 貸付金利息	786,363	01 事業損金	31,088
0300-00 雑 収 入	3,789	11-05 退職手当	3,600
0302-00 運用収入		12-07 旅 費	5,283
0302-01 運用収入	3,237	13-08 業務諸費	22,150
0303-00 雑 収 入		19-09 交 際 費	55

## 農 林 漁 業 金 融 公 庫

## 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 事 業 計 画

1. 昭和48年4月1日から4月11日までの期間における貸付計画額は、10,000,000千円を予定している。
2. 昭和48年4月1日から4月11日までの期間における資金の貸付けは、上記貸付計画額のうち798,000千円及び昭和47年度の貸付計画額のうち、事業計画上資金交付未済となつている9,469,000千円、計10,267,000千円を予定している。
3. 上記の原資としては、貸付回収金等10,267,000千円を予定している。

## 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 資 金 計 画

支 出			収 入		
区 分	金 額(千円)		区 分	金 額(千円)	
貸 付 金	10,267,000		前 期 未 現 金 預 け 金	20,473,753	
事 業 損 金			貸 付 回 収 金	1,601,169	
事 務 費	31,088		事 業 益 金	786,363	
翌 日 へ 現 金 預 け 金 繰 越	12,566,986		雑 収 入	3,789	
合 計	22,865,074		合 計	22,865,074	

## 昭和 48 年 度 2040 中 小 企 業 金 融 公 庫

### 甲号 収入支出暫定予算予定計算書

区	分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
1	収 入	3,683,619	
2	支 出	56,313	

〔収入支出暫定予算予定額内訳〕

### 収 入

款・項・目別区分並びに各目の見積の事由及び計算の基礎

款 ・ 項 ・ 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
0100-00 事 業 益 金		
0101-00 事 業 益 金		
0101-01 貸 付 金 利 息	3,682,131	貸付金残高を基礎として利息の収入見込額を算出
0200-00 雑 収 入	1,488	
0201-00 運 用 収 入		
0201-01 運 用 収 入	1,221	有価証券の運用による利息収入等の収入見込額を計上
0202-00 雑 収 入		
0202-01 雑 収 入	267	委託金融機関から受け入れる未貸付に係る金額の利息収入等を計上

# 支 出

事 項 別 内 訳

項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説	明
01 事業損金	事務運営に必要な経費	56,313	事務運営に必要な事務費	

## 収入支出暫定予算予定額科目別表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)		科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
収 入		収入支出	0202-01 雑 収 入	267	
0100-00 事業益金			収 入 合 計	3,683,619	
0101-00 事業益金			支 出		
0101-01 貸付金利息	3,682,131		01 事業損金	56,313	
0200-00 雑 収 入	1,488		12-07 旅 費	11,810	
0201-00 運用収入			13-08 業 務 諸 費	44,348	
0201-01 運用収入	1,221		19-09 交 際 費	55	
0202-00 雑 収 入			19-10 債 権 保 全 費	100	

## 中 小 企 業 金 融 公 庫

### 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 事 業 計 画

1. 昭和48年4月1日から4月11日までの期間における貸付金は25,400,000千円を予定している。
2. 上記の原資としては、資金運用部資金からの借入金7,000,000千円、貸付回収金等18,400,000千円、計25,400,000千円を予定している。

### 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 資 金 計 画

支 出			収 入		
区 分	金 額(千円)		区 分	金 額(千円)	
貸 付 金	25,400,000		前 期 末 現 金 預 け 金	404,692	
事 業 損 金			借 入 金		
事 務 費	56,313		資 金 運 用 部 借 入 金	7,000,000	
翌 日 へ 現 金 預 け 金 繰 越	2,194,998		貸 付 回 収 金		
			公 庫 貸 付 回 収 金	16,563,000	
			事 業 益 金	3,682,131	
			雑 収 入	1,488	
合 計	27,651,311		合 計	27,651,311	

## 昭和48年度2050北海道東北開発公庫

## 甲号 収入支出暫定予算予定計算書

区 分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
1 収 入	582,977	
2 支 出	24,603	
〔収入支出暫定予算予定額内訳〕		
収 入		
款・項・目別区分並びに各目の見積の事由及び計算の基礎		
款 ・ 項 ・ 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
0100-00 事業益金		
0101-00 事業益金		
0101-01 貸付金利息	581,250	貸付金残高を基礎として利息の収入見込額を算出
0200-00 雑収入	1,727	
0201-00 運用収入		
0201-01 運用収入	1,578	有価証券の運用による利息収入等の収入見込額を計上
0202-00 雑収入		
0202-01 雑収入	149	不用物品売払代等の収入見込額を計上

## 支 出

事 項 別 内 訳

項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説	明
01 事業損金	事務運営に必要な経費	24,603	事務運営に必要な事務費等	

## 収入支出暫定予算予定額科目別表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)
収 入		0202-01 雑 収 入	149
0100-00 事業益金		収 入 合 計	582,977
0101-00 事業益金		支 出	
0101-01 貸付金利息	581,250	01 事業損金	24,603
0200-00 雑 収 入	1,727	11-05 退職手当	9,631
0201-00 運用収入		12-07 旅 費	5,749
0201-01 運用収入	1,578	13-08 業務諸費	9,168
0202-00 雑 収 入		19-09 交 際 費	55

## 北海道東北開発公庫

## 昭和48年度暫定予算事業計画

1. 昭和48年4月1日から4月11日までの期間における貸付金は2,700,000千円を予定している。
2. 上記の原資としては、貸付回収金等2,700,000千円を予定している。

## 昭和48年度暫定予算資金計画

支 出			収 入		
区 分	金 額(千円)		区 分	金 額(千円)	
貸 付 金	2,700,000		前 期 末 現 金 預 け 金	3,561,635	
事 業 損 金			貸 付 回 収 金	1,212,044	
事 務 費	24,603		事 業 益 金	581,250	
翌 日 へ 現 金 預 け 金 繰 越	2,632,053		雑 収 入	1,727	
合 計	5,356,656		合 計	5,356,656	

## 昭和48年度2060公営企業金融公庫

## 甲号 収入支出暫定予算予定計算書

区 分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
1 収 入	8,722	
2 支 出	2,484	
〔収入支出暫定予算予定額内訳〕		
収 入		
款・項・目別区分並びに各目の見積の事由及び計算の基礎		
款 ・ 項 ・ 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
0100-00 事業益金		
0101-00 事業益金		
0101-01 貸付金利息	100	貸付金に係る利息収入見込額を計上
0200-00 雑収入		
0202-00 運用収入		
0202-01 運用収入	8,622	有価証券の運用による利息収入等の収入見込額を計上

支 出

事 項 別 内 訳

項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説 明
01 事業損金	事務運営に必要な経費	2,484	事務運営に必要な事務費

収入支出暫定予算予定額科目別表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)
収 入		収 入 合 計	8,722
0100-00 事業益金		支 出	
0101-00 事業益金		01 事業損金	2,484
0101-01 貸付金利息	100	12-07 旅 費	272
0200-00 雑 収 入		13-08 業 務 諸 費	2,157
0202-00 運 用 収 入		19-09 交 際 費	55
0202-01 運 用 収 入	8,622		

## 公 営 企 業 金 融 公 庫

## 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 事 業 計 画

1. 昭和48年4月1日から4月11日までの期間における貸付金は6,500,000千円を予定している。
2. 上記の原資としては、前期繰越資金6,500,000千円を予定している。
3. 昭和48年4月1日から4月11日までの期間において、農林漁業金融公庫から委託を受けて行なう公有林整備及び草地開発のための貸付契約額は1,000,000千円を予定している。

## 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 資 金 計 画

支 出			収 入		
区 分	金 額(千円)		区 分	金 額(千円)	
貸 付 金	6,500,000		前 期 未 現 金 預 け 金	13,871,836	
事 業 損 金			公 営 競 技 納 付 金	183,333	
事 務 費	2,484		事 業 益 金	100	
翌 日 へ 現 金 預 け 金 繰 越	7,561,407		雑 収 入	8,622	
合 計	14,063,891		合 計	14,063,891	

(注) 農林漁業金融公庫から委託を受けて行なう公有林整備及び草地開発のための貸付金に係る収支は含まれていない。

昭和48年度2070中小企業信用保険公庫

甲号 収入支出暫定予算予定計算書

区 分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
1 収 入	538,269	
2 支 出	700,640	
〔収入支出暫定予算予定額内訳〕		
<p>収 入</p> <p>款・項・目別区分並びに各目の見積の事由及び計算の基礎</p>		
款 ・ 項 ・ 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
0100-00 事業益金		
0101-00 事業益金		
0101-01 貸付金利息	30	貸付金残高を基礎として利息の収入見込額を算出
0200-00 保険料収入		
0201-00 保険料収入		
0201-01 保険料収入	157,508	最近までの収入実績を勘案し引受保険金額を基礎として収入見込額を算出
0300-00 回収金		
0301-00 回収金		

款・項・目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
0301-01 回 収 金	380,581	最近までの支払保険金に係る回収実績を基礎として回収見込額を算出
0500-00 雑 収 入		
0501-00 雑 収 入		
0501-01 雑 収 入		

支 出

事 項 別 内 訳

項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説 明
01 事業損金	事務運営に必要な経費	8,506	事務運営に必要な事務費等
02 保険金	保 険 金	692,134	「中小企業信用保険法」及び「中小企業信用保険臨時措置法」に基づく支払保険金

収入支出暫定予算予定額科目別表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)
収 入		0201-00 保 険 料 収 入	
0100-00 事業益金		0201-01 保 険 料 収 入	157,508
0101-00 事業益金		0300-00 回 収 金	
0101-01 貸付金利息	30	0301-00 回 収 金	
0200-00 保 険 料 収 入		0301-01 回 収 金	380,581

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)		科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
0500-00 雑 収 入			12-07 旅 費	794	
0501-00 雑 収 入			13-08 業 務 諸 費	7,077	
0501-01 雑 収 入	150		19-09 交 際 費	55	
収 入 合 計	538,269		02 保 険 金		
支 出			99-01 保 険 金	692,134	
01 事 業 損 金	8,506		支 出 合 計	700,640	
11-05 退 職 手 当	580				

## 中 小 企 業 信 用 保 険 公 庫

### 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 事 業 計 画

1. 昭和48年4月1日から4月11日までの期間における保険事業の包括保証保険の保険引受額は76,200,000千円を予定している。
2. 昭和48年4月1日から4月11日までの期間における融資事業の事業計画は、次のとおりである。
  - (1) 信用保証協会に対する貸付額は50,000千円を予定している。
  - (2) 上記の原資としては、貸付回収金50,000千円を予定している。

### 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 資 金 計 画

支 出			収 入		
区 分	金 額(千円)		区 分	金 額(千円)	
貸 付 金	50,000		前 期 未 現 金 預 け 金		18,450,340
保 険 金	692,134		貸 付 回 収 金		50,000
事 業 損 金			貸 付 金 利 息		30
事 務 費	8,506		保 険 料 収 入		157,508
翌 日 へ 現 金 預 け 金 繰 越	18,287,969		回 収 金		380,581
			雑 収 入		150
合 計	19,038,609		合 計		19,038,609

## 昭和48年度2080医療金融公庫

## 甲号 収入支出暫定予算予定計算書

区 分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
1 収 入	521,431	
2 支 出	8,807	
〔収入支出暫定予算予定額内訳〕		
収 入		
款・項・目別区分並びに各目の見積の事由及び計算の基礎		
款 ・ 項 ・ 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
0100-00 事業益金		
0101-00 事業益金		
0101-01 貸付金利息	521,347	貸付金残高を基礎として利息の収入見込額を算出
0200-00 雑収入		
0202-00 運用収入		
0202-01 運用収入	84	有価証券の運用による利息収入等の収入見込額を計上

支 出

事 項 別 内 訳

項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説 明
01 事業損金	事務運営に必要な経費	8,807	事務運営に必要な事務費

収入支出暫定予算予定額科目別表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)
収 入		収 入 合 計	521,431
0100-00 事業益金		支 出	
0101-00 事業益金		01 事業損金	8,807
0101-01 貸付金利息	521,347	12-07 旅 費	2,485
0200-00 雑 収 入		13-08 業 務 諸 費	6,266
0202-00 運 用 収 入		19-09 交 際 費	56
0202-01 運 用 収 入	84		

# 医 療 金 融 公 庫

## 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 事 業 計 画

1. 昭和48年4月1日から4月11日までの期間における貸付契約額は、2,200,000千円を予定している。
2. 昭和48年4月1日から4月11日までの期間における資金の貸付けは、上記貸付契約額2,200,000千円のうち1,200,000千円及び昭和47年度の貸付契約額のうち、事業計画上資金交付未済となっている900,000千円、計2,100,000千円を予定している。
3. 上記の原資としては、貸付回収金等2,100,000千円を予定している。

## 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 資 金 計 画

支 出			収 入		
区 分	金 額(千円)		区 分	金 額(千円)	
貸 付 金	2,100,000		前 期 未 現 金 預 け 金	1,653,799	
事 業 損 金			貸 付 回 収 金	625,637	
事 務 費	8,807		事 業 益 金	521,347	
翌 日 へ 現 金 預 け 金 繰 越	692,060		雑 収 入	84	
合 計	2,800,867		合 計	2,800,867	

## 昭和48年度2090環境衛生金融公庫

## 甲号 収入支出暫定予算予定計算書

区 分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
1 収 入	463,772	
2 支 出	272,744	
〔収入支出暫定予算予定額内訳〕		
収 入		
款・項・目別区分並びに各目の見積の事由及び計算の基礎		
款 ・ 項 ・ 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
0100-00 事業益金		
0101-00 事業益金		
0101-01 貸付金利息	461,427	貸付金残高を基礎として利息の収入見込額を算出
0200-00 雑収入	2,345	
0203-00 運用収入		
0203-01 運用収入	30	有価証券の運用による利息収入等の収入見込額を計上
0202-00 雑収入		
0202-01 雑収入	2,315	委託金融機関から受け入れる交付金利息の収入見込額を計上

支 出

事 項 別 内 訳

項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説 明
01 事業損金	事務運営に必要な経費	7,170	事務運営に必要な事務費
	業務委託費	265,574	業務の一部を委託する金融機関に支払う手数料

収入支出暫定予算予定額科目別表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)
収 入		0202-01 雑 収 入	2,315
0100-00 事業益金		収 入 合 計	463,772
0101-00 事業益金		支 出	
0101-01 貸付金利息	461,427	01 事業損金	272,744
0200-00 雑 収 入	2,345	12-07 旅 費	126
0203-00 運用収入		13-08 業 務 諸 費	6,988
0203-01 運用収入	30	19-09 交 際 費	56
0202-00 雑 収 入		35-12 業 務 委 託 費	265,574

# 環 境 衛 生 金 融 公 庫

## 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 事 業 計 画

1. 昭和48年4月1日から4月11日までの期間における貸付金は総額4,300,000千円を予定している。
2. 上記の原資としては、貸付回収金等4,300,000千円を予定している。

## 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 資 金 計 画

支 出			収 入		
区 分	金 額(千円)		区 分	金 額(千円)	
貸 付 金	4,300,000		前 期 末 現 金 預 け 金	3,939,239	
事 業 損 金	272,744		貸 付 回 収 金	1,902,745	
事 務 費	7,170		事 業 益 金	461,427	
業 務 委 託 費	265,574		運 用 収 入	30	
翌 日 へ 現 金 預 け 金 繰 越	1,733,012		雑 収 入	2,315	
合 計	6,305,756		合 計	6,305,756	

昭和48年度2100沖縄振興開発金融公庫

甲号 収入支出暫定予算予定計算書

区 分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
1 収 入	60,614	
2 支 出	5,946	

〔収入支出暫定予算予定額内訳〕

収 入

款・項・目別区分並びに各目の見積の事由及び計算の基礎

款 ・ 項 ・ 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
0100-00 事業益金		
0101-00 事業益金		
0101-01 貸付金利息	60,074	貸付金残高を基礎として利息の収入見込額を算出
0200-00 雑収入		
0201-00 運用収入		
0201-01 運用収入	540	有価証券の運用による利息収入等の収入見込額を計上

沖縄金融

## 支 出

事 項 別 内 訳

項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説 明
01 事業損金	事務運営に必要な経費	5,946	事務運営に必要な事務費等

## 収入支出暫定予算予定額科目別表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)
収 入		収 入 合 計	60,614
0100-00 事業益金		支 出	
0101-00 事業益金		01 事業損金	5,946
0101-01 貸付金利息	60,074	11-05 退職手当	265
0200-00 雑収入		12-07 旅 費	1,778
0201-00 運用収入		13-08 業務諸費	3,854
0201-01 運用収入	540	19-09 交 際 費	49

# 沖 縄 振 興 開 発 金 融 公 庫

## 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 事 業 計 画

昭和 48 年 4 月 1 日から 4 月 11 日までの期間における事業計画は、次のとおりである。

- ( 1 ) 貸付契約は、産業開発資金貸付 597,000 千円、中小企業等資金貸付 520,000 千円、住宅資金貸付 480,000 千円、農林漁業資金貸付 270,000 千円、医療・環境衛生資金貸付 63,000 千円、総額 1,930,000 千円を予定している。
- ( 2 ) 資金の貸付けは、昭和 47 年度の貸付契約金額のうち 1,670,000 千円及び沖縄振興開発金融公庫が承継した琉球開発金融公社等の貸付契約に係る貸付け 381,000 千円、計 2,051,000 千円を予定している。
- ( 3 ) 上記の原資としては、貸付回収金等 2,051,000 千円を予定している。

## 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 資 金 計 画

支 出			収 入		
区 分	金 額(千円)		区 分	金 額(千円)	
貸 付 金	2,051,000		前 期 末 現 金 預 け 金	10,357,937	
事 業 損 金			貸 付 回 収 金	155,963	
事 務 費	5,946		事 業 益 金	60,074	
翌 日 へ 現 金 預 け 金 繰 越	8,517,568		雑 収 入	540	
合 計	10,574,514		合 計	10,574,514	

## 昭和48年度 3010 日本開発銀行

## 甲号 収入支出暫定予算予定計算書

区 分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
1 収 入	3,558,819	
2 支 出	478,683	
〔収入支出暫定予算予定額内訳〕		
収 入		
款・項・目別区分並びに各目の見積の事由及び計算の基礎		
款 ・ 項 ・ 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
0100-00 事業益金		
0101-00 事業益金	3,551,558	
0101-01 貸付金利息	3,538,615	貸付金残高を基礎として利息の収入見込額を算出
0101-02 保証料	12,943	保証債務残高を基礎として保証料の収入見込額を算出
0200-00 雑収入	7,261	
0202-00 運用収入		
0202-01 運用収入	5,057	有価証券の運用による利息収入等の収入見込額を計上
0203-00 雑収入	2,204	

款・項・目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
0203-02 労働保険料被保険者負担金	1,454	労働保険料の被保険者負担金の収入見込額を計上
0203-01 雑 収 入	750	不用物品売払代等の収入見込額を計上

支 出

事 項 別 内 訳

項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説 明
01 事業損金	事務運営に必要な経費	212,703	事務運営に必要な人件費及び事務費
	業 務 委 託 費	588	業務の一部を委託する金融機関に支払う手数料
	支 払 利 息	265,392	産業投資特別会計からの借入れ等に伴う支払利息

収 入 支 出 暫 定 予 算 予 定 額 科 目 別 表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)
収 入		0200-00 雑 収 入	7,261
0100-00 事業益金		0202-00 運用収入	
0101-00 事業益金	3,551,558	0202-01 運用収入	5,057
0101-01 貸付金利息	3,538,615	0203-00 雑 収 入	2,204
0101-02 保 証 料	12,943	0203-02 労働保険料被保険者負担金	1,454

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)		科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
0203-01 雑 収 入	750		11-04 超 過 勤 務 手 当	17,447	
収 入 合 計	3,558,819		12-07 旅 費	5,450	
支 出			13-08 業 務 諸 費	32,879	
01 事 業 損 金	478,683		19-09 交 際 費	110	
11-01 役 員 給	5,190		15-11 業 務 委 託 費	588	
11-02 職 員 基 本 給	141,904		99-12 支 払 利 息	265,392	
11-03 職 員 諸 手 当	9,723				

開  
銀

日 本 開 発 銀 行

昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 事 業 計 画

1. 日本開発銀行の昭和48年4月1日から4月11日までの期間における貸付の対象は、都市開発、地方開発、国民生活改善等とし、貸付金額は16,500,000千円を予定している。
2. 上記の原資としては、自己資金16,500,000千円を予定している。

## 昭和48年度3020日本輸出入銀行

## 甲号 収入支出暫定予算予定計算書

区 分	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
1 収 入	3,354,337	
2 支 出	20,500	
〔収入支出暫定予算予定額内訳〕		
収 入		
款・項・目別区分並びに各目の見積の事由及び計算の基礎		
款 ・ 項 ・ 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	見 積 の 事 由 及 び 計 算 の 基 礎
0100-00 事 業 益 金		
0101-00 事 業 益 金		
0101-01 貸 付 金 利 息	3,341,334	貸付金残高を基礎として利息の収入見込額を算出
0200-00 雑 収 入	13,003	
0201-00 運 用 収 入		
0201-01 運 用 収 入	12,379	有価証券の運用による利息収入等の収入見込額を計上
0202-00 雑 収 入		
0202-01 雑 収 入	624	受託手数料収入等の収入見込額を計上

輸  
銀

# 支 出

事 項 別 内 訳

項	事 項	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	説	明
01 事 業 損 金	事務運営に必要な経費	20,500	事務運営に必要な事務費	

## 収入支出暫定予算予定額科目別表

科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)		科 目	昭和48年度暫定予算 予 定 額 (千円)	
収 入		収入支出	0202-01 雑 収 入	624	
0100-00 事 業 益 金			収 入 合 計	3,354,337	
0101-00 事 業 益 金			支 出		
0101-01 貸 付 金 利 息	3,341,334		01 事 業 損 金	20,500	
0200-00 雑 収 入	13,003		12-07 旅 費	2,938	
0201-00 運 用 収 入			12-08 業 務 諸 費	17,451	
0201-01 運 用 収 入	12,379		19-09 交 際 費	111	
0202-00 雑 収 入					

## 日 本 輸 出 入 銀 行

## 昭 和 48 年 度 暫 定 予 算 事 業 計 画

1. 日本輸出入銀行の昭和48年4月1日から4月11日までの期間における業務は、資源等重要物資の輸入、海外投資及び直接借款等のために必要な資金の貸付等であり、貸付の金額は21,900,000千円を予定している。
2. 上記の原資としては、自己資金21,900,000千円を予定している。